

次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」 (令和8(2026)年度～令和11(2029)年度)

法人(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室													
1 経営改善及び連携活用に関する方針																
(1) 法人の概要			(2) 本市施策における法人の役割													
法人の事業概要	<p>【公益目的事業】</p> <p>(1) 緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業</p> <p>(2) 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業</p> <p>【公益目的事業の推進に資するために実施する収益事業等】</p> <p>駐車場及び売店等の経営</p>		<p>・市の公園緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援 ・民有地緑化に対する助成、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上 ・公園緑地施設等の管理運営 ・協働の取組及び利活用等に対する中間支援 													
法人の設立目的	<p>・緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによる地域社会の健全な発展への寄与</p>															
法人のミッション	<p>(1) 民有地の緑の保全及び緑化の普及啓発と市民の緑化意識の向上、市民による緑の街づくりの推進</p> <p>(2) 緑のボランティアセンター機能としての、緑のボランティアの育成、活動支援の充実</p> <p>(3) 公園緑地施設等の円滑な運営と健全な利用の増進</p> <p>(4) 行政との協働により、市民の窓口となり市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができる緑の情報発信基地としての機能を果たし、緑豊かな潤いと安らぎのある街づくりに寄与すること</p> <p>(5) グリーンコミュニティ形成の促進に向けた中間支援機能の活性化と拡充</p>		法人の取組と関連する市の計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">市総合計画上関連する政策等</th> <th style="width: 30%;">政策</th> <th style="width: 40%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>政策3-2</td> <td>豊かな自然環境をつくる</td> <td>施策3-2-1 協働・共創によるみどりのまちづくり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関連する市の個別計画</td> <td colspan="2">・緑の基本計画</td> </tr> </tbody> </table>		市総合計画上関連する政策等	政策	施策		政策3-2	豊かな自然環境をつくる	施策3-2-1 協働・共創によるみどりのまちづくり		関連する市の個別計画	・緑の基本計画	
	市総合計画上関連する政策等	政策	施策													
	政策3-2	豊かな自然環境をつくる	施策3-2-1 協働・共創によるみどりのまちづくり													
	関連する市の個別計画	・緑の基本計画														

(3) 現状と課題	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・「川崎市緑の基本計画」に基づき、市民との協働による都市緑化の推進と緑のボランティア活動支援の取組として、コミュニティガーデン入門講座、里山や花壇で活動を行っているボランティアへの各種支援に加え、公園緑地愛護会等への技術支援等を実施しています。また、公益目的事業の推進、公益財団法人としての自立的な経営に向けて、指定管理業務の受託など収益事業の拡充に加え、事業の簡素化、効率化、収益事業の拡充、組織再編等を図り経費削減に努めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・協会は、定款記載の公益財団法人としての目的を達成すべく緑に関する事業を円滑に実施する法人運営をしていきたいと考えています。そのために緑のボランティアセンターとして現在継続している緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を推進し、グリーンコミュニティの形成に向け、多様な主体が参画できるよう中間支援機能の活性化と拡充が必要であると考えています。また、現状も赤字経営が続いている状況を踏まえ、収益のさらなる確保に向けて、協会自主財源の主である収益事業の増収を見据えた、安定した事業収益の確保と協会事業法人運営が今後の課題であると考えています。

(4) 取組の方向性	
経営改善項目	<ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地等の指定管理事業及び中間支援事業に積極的に参加し、事業収益確保に取り組めます。また、事業の効率化を進めるとともに自主的財源確保に向けた駐車場、特に自動販売機の収益事業の拡充と新規開拓を図り、経営基盤の安定化と財源確保に努めます。
連携・活用項目	<ul style="list-style-type: none"> ・「川崎市緑の基本計画」における各施策について、これまでの取組の継続に加えて、以下の観点を踏まえ、法人の役割を確認しながら連携・活用します。 ・緑のパートナーとして多様な主体との連携、促進を図り、「緑育」という視点で、特に次世代を担う子供たちに対する活動支援を実施します。 ・緑の空間の持続的な保全・創出・育成という観点から、緑化助成制度の更なる普及と充実に取り組めます。 ・中間支援事業の受託により、これまで行ってきたボランティアセンター機能の活用に加え、身近な公園における多様な主体との取組の活性化を図り、公園緑地の新たな担い手を育てる仕組みづくりをはじめ、市民による公園緑地を中心としたグリーンコミュニティの形成に寄与してまいります。

(5) 4か年計画の目標

・地域社会の健全な発展に寄与するため、緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行います。

・「緑化推進・普及啓発事業」「緑のボランティア事業（緑のボランティアセンター運営事業）」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として、緑に関する事業運営を主体に、公園緑地の運営及び健全な利用促進を推進拡充していきます。

・等々力緑地再編整備事業による影響を踏まえ、経常収益のうち市財政支出負担割合の減少及び正味財産額（純資産額）の遞減抑制に向けて、収益事業の見直しを実施し自己収入の確保に努めるとともに利活用等の新たな中間支援を担う組織として事業を継続的に受託し、効率的かつ安定的に実施できるよう取り組んでまいります。また、今後の事業運営のあり方について検討を行います。

2 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

(1) 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名	現状	行動計画
緑化推進・普及啓発事業	・緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の発行からフェイスブックやホームページの活用まで幅広い広報活動を展開し、緑化推進・普及啓発事業（思い出記念樹・緑化助成金等）を周知することにより、地域の緑化と市民の緑化意識の高揚を図るとともに、花と緑あふれる潤いのある街づくりに努めています。	・広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、更にフェイスブック等により、リアルタイムに情報を提供、共有するとともに、広く市民に緑化推進・普及啓発事業（思い出記念樹・緑化助成金等）を周知し拡充することに努めます。

本市施策推進に関する指標		現状値		目標値			単位
		R6(2024)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	
1	ホームページアクセス回数	16,936	15,300	15,400	15,500	15,600	回
	説明 協会ホームページアクセス回数						
2	緑化推進事業等助成件数	395	400	405	410	415	件
	説明 緑化推進事業等を目的に行う各種助成総件数（思い出記念樹・生垣づくり・駐車場緑化・屋上・壁面緑化）						
3	事業別の行政サービスコスト	52,729 (54,271)	53,832 (55,393)	53,832 (55,393)	53,832 (55,393)	53,832 (55,393)	千円
	説明 本市財政支出（直接事業費）						

(1) 本市施策推進に向けた事業計画②		
事業名	現状	行動計画
緑のボランティア事業（緑のボランティアセンター運営事業）	・グリーンコミュニティ形成に向け、緑に関する各種講座・出前講座等を開催し、緑に関わるきっかけづくりや、緑のボランティアの育成と活動支援を図るとともに、協会人材バンクへの登録や緑の活動団体登録を維持し、市民と協働によるみどりのまちづくりを推進します。	・緑に関わるきっかけづくりや、緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を開催し、受講者数を増やすとともに、受講者の緑化意識や技術向上を推進します。また、協会人材バンクを通じ、各種イベントボランティアや各地域で活躍できる人材育成を行うとともに、緑の活動団体を引き続き支援するなど、市民と協働によるみどりのまちづくりを推進します。また、身近な公園等における、多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティ形成を進めます。

本市施策推進に関する指標		現状値	目標値				単位
		R6(2024)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	
1	各種講座受講者数	2,924	2,970	2,990	3,010	3,030	人
	説明 緑のボランティア育成と活動支援を目的に協会が主催する各種講座受講者数						
2	緑の人材バンク新規登録者数	20	22	23	24	25	人
	説明 イベントの講師、花と緑の相談員、出前講座、活動支援等に活用する人材バンクの新規登録者数						
3	緑の活動団体登録数	274	276	277	278	279	団体
	説明 各地域で里山整備や花壇・プランター等を活用して花と緑のボランティア活動を行う団体の登録数						
4	事業別の行政サービスコスト	54,551 (58,936)	58,145 (62,819)	58,145 (62,819)	58,145 (62,819)	58,145 (62,819)	千円
	説明 本市財政支出（直接事業費）						

（１）本市施策推進に向けた事業計画③		
事業名	現状	行動計画
公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	・令和7（2025）年度から川崎市緑化センターの指定管理者に指定され、園内の維持管理及び展示物等の充実を図るとともに、各種講習会やイベントを実施し、市民の人達に花と緑を守り育てる緑化意識の向上と緑化推進に努めています。	・指定管理者として緑化センターの維持管理の充実を図り、花と緑を中心とした各種講習会・イベント等を実施し、参加者の満足度を高め、緑化意識の向上と緑化推進を拡充します。また、令和8（2026）年度以降新たな中間支援事業のプロポーザルに参画し、市内の公園緑地等において、市民の手による花と緑を守り育てていく環境づくりを推進するとともにグリーンコミュニティの形成を図り、花と緑に囲まれた魅力ある川崎のまちづくりを市民とともに目指します。

本市施策推進に関する指標		現状値	目標値				単位
		R6(2024)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	
1	緑化センター来園者数	-	213,200	213,400	213,600	213,800	人
	説明 緑化センターへの来園者数						
2	緑化センター来園者及び各種講習会・イベント等参加者満足度	-	96.0	97.0	98.0	99.0	%
	説明 緑化センター来園者及び各種講習会、センター主催イベント等への参加者満足度						
3	グリーンコミュニティ形成を促進するイベントや活動支援等の実施回数	-	36	39	42	45	回
	説明 公園緑地等におけるイベントや活動支援等の実施回数						
4	事業別の行政サービスコスト	-	72,581 (72,581)	73,336 (73,336)	74,110 (74,110)	74,904 (74,904)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)						

(2) 経営健全化に向けた事業計画①		
項目名	現状	行動計画
収益性、自立性の向上	<p>・令和3（2021）年度及び令和4（2022）年度の経常収支比率は100%を超えていましたが、令和5（2023）年度は等々力緑地再編整備事業の影響により、駐車場等事業収益が大幅に減少し、経常収支比率が85%となり、当期経常増減額は約4千3百万円の減でした。協会本部事務所の移転等がある中でも、令和7（2025）年度から始まる1施設の指定管理事業運営と今後の事業拡充に向けて、全国都市緑化かわさきフェアのレガシーとなる市内全域でのグリーンコミュニティ形成に伴う中間支援事業等への取組に係る対応や、ボランティアセンターとしての機能を充実させる必要があるため、協会の組織体制を確保して事業を進め、事業収益の増加を目指します。</p>	<p>・今後4か年における安定した協会事業運営を行うために、新たな指定管理事業及び中間支援事業並びに公園緑地等のプロポーザル事業の獲得に向けて積極的に取り組み、また、自動販売機の増設や新規駐車場開設の調査提案など収益事業による自己収入の拡充に努めるとともに、様々な事業確保に取組み、公益事業を中心とした組織体制の構築と経営健全化に努めます。さらに、経営健全化の一助となるよう、協賛など事業への賛同者を募っていきます。</p>

経営健全化に関する指標		現状値	目標値				単位
		R6(2024)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	
1	経常収支比率（一般正味財産（一般純資産））	90.2	94.0	94.1	94.3	94.4	%
	説明 事業活動の結果である経常収益とそれに費やした経常費用の割合						
2	正味財産額（純資産額）の推移	539,730	437,396	419,881	402,761	386,041	千円
	説明 出捐者から受け入れた指定正味財産額（指定純資産額）と本業から得られた過年度経常収支差額の合計額						
3	経常収益のうち市財政支出負担割合	71.5	89.3	89.2	89.1	89.0	%
	説明 事業活動の結果である経常収益のうち、市財政支出（補助金＋負担金＋委託料＋指定管理料）が占める割合						

(3) 業務・組織に関する計画①		
項目名	現状	行動計画
効率的・安定的な執行体制の構築	<p>・協会職員の安全衛生及び専門性のスキル向上とマルチタスク化を目的に、職員の安全衛生やコンプライアンスへの意識醸成、技術的スキルアップと資格取得をめざし、令和6（2024）年度は、職員研修に12回、延べ29名が参加しています。</p>	<p>・公益的目的事業の推進をするにあたり、緑のボランティアの育成と支援を行うために職員の技術的スキルアップと資格取得を目的に各種研修会等に参加します。</p> <p>・また、指定管理事業や中間支援事業等の新たな事業確保を目指すとともに公益法人制度及び公益法人会計基準の改正に伴う事務・経理能力の向上を目的に各種研修会等に参加します。さらに、安全衛生やコンプライアンスの徹底を図る目的で協会内でも研修会を実施し、効率的・安全安心な業務遂行と管理運営に努めます。</p>

業務・組織に関する指標		現状値	目標値				単位
		R6(2024)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	
1	職員の研修参加回数	12	13	13	14	14	回
	説明 職員が参加した研修の回数						

(参考) 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標		指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方
			令和6(2024)年度	令和11(2029)年度		
緑化推進・普及啓発事業						
1	ホームペーリアクセス回数	・広報誌・チラシ等の発行やFacebookなど様々な媒体を活用し緑化の推進・普及啓発事業等を市民に周知・広報するとともに、URLや二次元コードから閲覧できるホームページへの誘導を行います。今後も引き続き、ホームページを活用し、情報発信の成果確認を測る指標として設定しました。	16,936	15,600	回	・R5年度、R6年度の平均値15,150回を参考に目標値を設定し、R5年度からR6年度のHPアクセス増加数(目標値)を参考に年100回増を目標に設定しました。 (参考：R4:29,301回、R5:13,367回 R6:16,936回)
	算出方法					
2	緑化推進事業等助成件数	・緑化推進・普及啓発事業等の広報を通じて緑化推進事業等助成の拡充状況を測る指標として設定しました。	395	415	件	・各種助成のうち、思い出記念樹の事業見直しに伴い、見直し後のR6年度の現状値を起点に同じ指標対象のR5年度、R6年度を参考に5件増で目標を設定しました。 (参考 R4:520件、R5:446件、R6:395件)
	算出方法					
3	事業別の行政サービスコスト	・当該事業の直接事業費に対して充当される本市財政支出を指標として設定しました。	52,729 (54,271)	53,832 (55,393)	千円	・緑化の推進・普及啓発事業の拡充を図るとともに助成件数増加も考慮に入れつつ、市の収支フレームに沿った経費支出を設定しました。
	算出方法					
緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)						
1	各種講座受講者数	・緑のボランティア育成と支援を目的に各種講座を開催し、多くの市民に受講していただくことで緑化意識の向上を図る指標として設定しました。	2,924	3,030	人	・これまでは専門性が高く参加のハードルが高かった講座等について、より幅広い市民が参加しやすく、コミュニティ形成に資する効果的な構成となるよう見直しを行いました。 ・受講者数はR6年度実績(2,924人)を基準に、年20人増を目標としています。 (R4:2,839人、R5:4,284人、R6:2,924人)
	算出方法					
2	緑の人材バンク新規登録者数	・緑のボランティア育成と支援を目的に各種講座を開催し、協会人材バンク登録を推進する指標として設定しました。	20	25	人	・R6年度の20人の実績に年1人ずつ増を目標として設定しました。 (参考：R4:27人、R5:24人、R6:20人)
	算出方法					
3	緑の活動団体の登録数	緑のボランティア育成と支援を目的に各種講座を開催し、地域緑化活動の推進と拡充を図るとともに既存団体にも継続的に支援を行うことで団体登録を推進する指標として設定しました。	274	279	団体	・R6年度の登録団体数をもとに、団体登録数が毎年増減する中で、年1団体ずつ増加することを目標として設定しました。
	算出方法					
4	事業別の行政サービスコスト	・当該事業の直接事業費に対して充当される本市財政支出を指標として設定しました。	54,551 (58,936)	58,145 (62,819)	千円	・緑のボランティア育成と活動団体の支援の推進・拡充を図るとともに人材バンク及び緑の活動団体新規登録数の増加も考慮に入れつつ、市の収支フレームに沿った経費支出を設定しました。
	算出方法					

本市施策推進に向けた事業計画

指標		指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方
			令和6（2024）年度	令和11（2029）年度		
公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業						
1	緑化センター来園者数	・緑化センターや市内公園緑地の利用促進と緑化意識向上を目的に、緑化センター内の各種講習会やイベントを充実させ実施し、センターの魅力発信と向上を図る指標として設定しました。	-	213,800	人	・R 4年度からR 6年度の平均213,043人の実績に年200人増を目標に設定しました。 (参考 R4:226,100人、R5:203,742人、R6:209,289人)
	算出方法 緑化センターへの来園者数					
2	来園者及び各種講習会・イベント等参加者満足度	・緑化センター内で実施される各種講習会やイベント等において、緑化センターの利用促進と緑化意識向上に向けて、参加者の満足度を測る指標として設定しました。	-	99.0	%	・緑化センター内の各種イベント等満足度は高水準で推移しているため、高い水準の満足度を維持する目標を設定しました。 ・R 4年度からR 6年度の平均96%の実績に年1%増を目標に設定しました。 (参考 R4:96%、R5:95%、R6:97%)
	算出方法 緑化センター来園者及び各種講習会、センター内イベント等への参加者満足度					
3	グリーンコミュニティ形成を促進するイベントや活動支援等の実施回数	・イベント開催等による公園緑地等の利用促進と担い手を育てる仕組みづくりにおける活動支援を測る指標として設定しました。	-	45	回	・市で実証実験として行ったR 6年度までの実施回数を参考に、年3回増を目標に設定しました。
	算出方法 公園緑地等におけるイベントや活動支援等の実施回数					
4	事業別の行政サービスコスト	・当該事業の直接事業費に対して充当される本市財政支出を指標として設定しました。	-	74,904 (74,904)	千円	・R 7年度から実施している指定管理業務と合わせて、R 8年度から新たに中間支援業務等の実施を想定した経費支出を設定しました。
	算出方法 本市財政支出 (直接事業費)					

経営健全化に向けた事業計画						
指標	指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方	
		令和6（2024）年度	令和11（2029）年度			
収益性、自立性の向上						
1	算出方法 経常収支比率（一般正味財産（一般純資産）） 事業活動の結果である経常収益とそれに費やした経常費用の割合	・収益性の向上を図るための指標として設定しました。日々の事業活動によって費やした経常費用に対し、得られる経常収益の割合の把握を通じて、安定的・継続的に事業を行っているか、その取組の成果を測るものとして設定しました。	90.2	94.4	%	・R 8年度から中間支援業務を受注したと想定し、経常収益と経常費用に受注に伴う影響見込み額を含めて目標値を設定しました。
	算出方法 正味財産額（純資産額）の推移 出捐者から受け入れた指定正味財産額（指定純資産額）と本業から得られた過年度経常収支差額の合計額					
3	算出方法 経常収益のうち市財政支出負担割合 事業活動の結果である経常収益のうち、市財政支出（補助金＋負担金＋委託料＋指定管理料）が占める割合	・経営における市の財政的関与を測る指標として設定しました。 ・収益事業の取組を通じての収益増収を測るものとして設定しました。	71.5	89.0	%	・本市の財政支出等の委託料に、中間支援業務を受注したことを想定した額を計上し、指定管理料に緑化センターの指定管理料を計上しました。今後は、収益事業の拡充を図り、市財政支出割合を抑えていく目標を設定しました。

業務・組織に関する計画						
指標	指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方	
		令和6（2024）年度	令和11（2029）年度			
効率的・安定的な執行体制の構築						
1	算出方法 職員の研修参加回数 職員が参加した研修の回数	・協会職員の安全衛生及び専門性のスキル向上とマルチタスク化を目的に指標として設定しました。	12	14	回	・R 6年度協会職員の内外研修参加件数をもとに2年毎に1回増を目標に設定しました。

(4) 財務見直し								
		現状	見込み	見込み	見込み	見込み	見込み	法人コメント
収支及び財産の状況 (単位: 千円)		令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	現状認識
活動計算書	(経常活動区分)							<p>・令和7 (2025) 年度に所管局と協議を重ねた事業見直しと事業運営の効率化に取り組み、令和8 (2026) 年度以降新たな中間支援事業にも参画し収益確保に努めます。令和7 (2025) 年4月から川崎市緑化センターの指定管理者として事業運営を開始し、経営の健全化を推進しています。</p> <p>・また、協会内部の組織改編を行い、三課による新規事業獲得に向けた体制強化を図り、新たな指定管理事業やプロポーザル事業にも対応できる組織体制を構築していきます。</p>
	経常収益	271,038	290,881	280,208	281,353	282,522	283,716	
	経常費用 (事業費)	281,224	344,243	279,113	279,868	280,642	281,436	
	経常費用 (管理費)	19,240	30,897	19,000	19,000	19,000	19,000	
	うち減価償却費	1,642	3,658	4,055	2,700	2,700	2,700	
	当期経常収益費用差額	△29,425	△84,259	△17,905	△17,515	△17,120	△16,720	
	(その他活動区分)							
	その他収益							
	その他費用							
その他収益費用差額	0	0	0	0	0	0	今後の見直し	
当期収益費用差額	△29,595	△84,429	△17,905	△17,515	△17,120	△16,720		
期末純資産額	539,730	455,301	437,396	419,881	402,761	386,041		
貸借対照表	総資産	637,837	553,408	537,909	524,464	511,725	499,702	<p>・令和6 (2024) 年度に開催された全国都市緑化かわさきフェアをレガシーとして、今後川崎市内全域の公園緑地で地域市民とともに協働で花と緑を守り育ていく新たな取組みとして中間支援組織に関する事業がクローズアップされてきます。その中間支援組織事業化に向けた社会実験のプロポーザルにも応募しましたが、選定には至りませんでした。令和8 (2026) 年度以降のプロポーザル等の応募に向けた準備として川崎市のPPPプラットフォームセミナーや勉強会・意見交換会などにも積極的に参加し、事業獲得に努めます。</p> <p>・また、収益事業においても自動販売機の設置と拡充を継続して行うとともに新規駐車場運営の場を調査研究し、所管局に提案と許可申請できるように努め、事業拡充を図ります。</p>
	流動資産	118,027	120,930	126,486	132,741	139,702	147,379	
	固定資産	519,809	432,478	411,423	391,723	372,023	352,323	
	総負債	98,107	98,107	100,513	104,583	108,964	113,661	
	流動負債	31,074	27,049	26,455	27,525	28,906	30,603	
	固定負債	67,034	71,058	74,058	77,058	80,058	83,058	
	純資産	539,730	455,301	437,396	419,881	402,761	386,041	
指定純資産	131,000	131,000	131,000	131,000	131,000	131,000		
一般純資産	408,730	324,301	306,396	288,881	271,761	255,041		
主たる勘定科目の状況 (単位: 千円)		令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	
経常収益	駐車場等事業収益	52,038	29,971	30,000	30,390	30,785	31,185	
経常費用	人件費 (事業費 + 管理費)	110,938	133,307	137,306	141,425	145,668	150,038	
総資産	特定資産	225,678	211,058	194,058	177,058	160,058	143,058	
総負債	有利子負債 (借入金 + 社債等)	2,711	1,356	0	0	0	0	
本市の財政支出等 (単位: 千円)		令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	本市コメント
補助金		107,280	107,513	111,977	111,977	111,977	111,977	<p>今後の見直しに対する認識</p> <p>・現状、協会本部事務所の移転等もあり、経営は大変厳しい状況だと認識しています。しかし、今後、「協働の取組」を持続的なものにするには、公園利用者を繋ぎ、まとめ、育てる、中間支援組織が不可欠であり、その担い手には、公園緑地協会がこれまで培ってきた地域との繋がりや、みどりに関する技術的ノウハウはアドバンテージになると考えています。公園緑地協会には、全国都市緑化かわさきフェア開催によるみどりへの関心の高まりを踏まえ、地域基盤としての既存の取組を継続・発展させるとともに、収益事業の拡大に積極的に取り組み、安定的な運営に向けた収益確保を進め、長期的な視点で経常収支比率の改善に向けて、取り組んでいきたいと考えています。</p>
負担金								
委託料		86,613	99,653	91,994	91,994	91,994	91,994	
指定管理料			45,505	46,237	46,992	47,766	48,560	
貸付金 (年度末残高)								
損失補償・債務保証付債務 (年度末残高)								
出捐金 (年度末状況)		131,000	131,000	131,000	131,000	131,000	131,000	
(市出捐率)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
財務に関する指標		令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	
流動比率 (流動資産 / 流動負債)		379.8%	447.1%	478.1%	482.3%	483.3%	481.6%	
有利子負債比率 (有利子負債 / 純資産)		0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
経常収支比率 (経常収益 / 経常費用)		90.2%	77.5%	94.0%	94.1%	94.3%	94.4%	
経常収支比率 (経常収益 / 経常費用) ※一般純資産のみ		90.2%	77.5%	94.0%	94.1%	94.3%	94.4%	
純資産比率 (純資産 / 総資産)		84.6%	82.3%	81.3%	80.1%	78.7%	77.3%	
経常費用に占める市財政支出割合 ((補助金 + 負担金 + 委託料 + 指定管理料) / 経常費用)		64.5%	67.4%	83.9%	84.0%	84.0%	84.1%	
経常収益に占める市財政支出割合 ((補助金 + 負担金 + 委託料 + 指定管理料) / 経常収益)		71.5%	86.9%	89.3%	89.2%	89.1%	89.0%	